



高性能な測定機器・設備の構築と ワイヤレス分野の研究開発サポート

概要

電波COE研究開発プログラムの一部助成により、電波の有効利用に関する研究に利するため、プログラムの趣旨に賛同いただける方に広く機材・設備を公開しております。測定機器・設備のご利用に関しては、第一級陸上無線技術士等の無線従事者免許保有者など、広い専門知識を持った研究技術員・職員がサポートいたします。

機器

小・中規模の研究課題では購入・維持が困難な、高性能な測定機器を運用・管理しております。以下にご利用可能な機器の一部を示します。

- スペクトラムアナライザ 周波数: ~32GHz、リアルタイム受信帯域: 100MHz
- ベクトルネットワークアナライザ 周波数: ~43.5GHz、4ポート、タイムドメイン解析機能
- マイクロ波信号発生装置 周波数: ~40GHz(信号作成ソフトウェアは今年度導入予定)
- オシロスコープ 5GHzサンプル/s

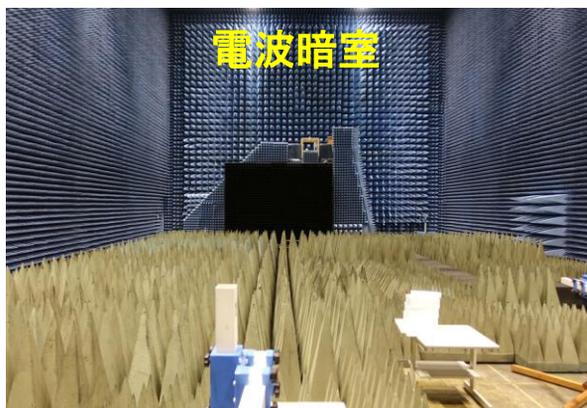
上記以外の測定機器・設備の内容、ご利用方法については、ポスター最下部のリンク先をご参照下さい。

設備

外部開放型研究環境の設備について、以下の2例をご紹介します。

「電波暗室」は、外来電波を遮蔽し室内の電波反射を抑制する設備です。電波伝搬実験やアンテナ指向性測定などにご利用いただけます。

「屋上キュービクル」は、電源設備を備えた実験小屋です。屋上に位置しているため屋外の電波伝搬実験などにもご利用いただけます。



今後の展開

測定機器のさらなる高周波化を目指し、ミリ波帯対応の機器を購入予定です。研究のニーズを勘案しながら測定機器の更新・最新化を行う予定です。

詳細はこちら

<https://w-coe.jp/environment-top/>

連絡先: 国際電気通信基礎技術研究所 E-Mail: contact@w-coe.jp

本研究開発は総務省SCOPE(受付番号196000002)の委託を受けたものです。